

地域交通戦略の目標の 進捗状況について

地域交通戦略の目標の進捗状況について

- 富山県地域交通戦略では、計画期間（R6年度～R10年度）で達成を目指す3つの目標を設定
- 戦略の目標の最新年度の進捗状況は次のとおり

目標 1

県民一人当たりの地域交通利用回数 50回/年

39.8回/年 (R4年度) ⇒ 42.0回/年 (R5年度) ⇒ **43.7回/年 (R6年度)**

目標 2

ガソリン車の台数 ▲20万台 (H25年比)

▲74,981台 (R4年度) ⇒ ▲86,929台 (R5年度) ⇒ **▲99,321台 (R6年度)**

目標 3

地域交通への満足度 1.25倍 (R5年度比)

① 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことはありますか。

1.00倍 (R5年度) ⇒ 1.07倍 (R6年度) ⇒ **1.15倍 (R7年度)**

② 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わりあいがあった、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことはありますか。

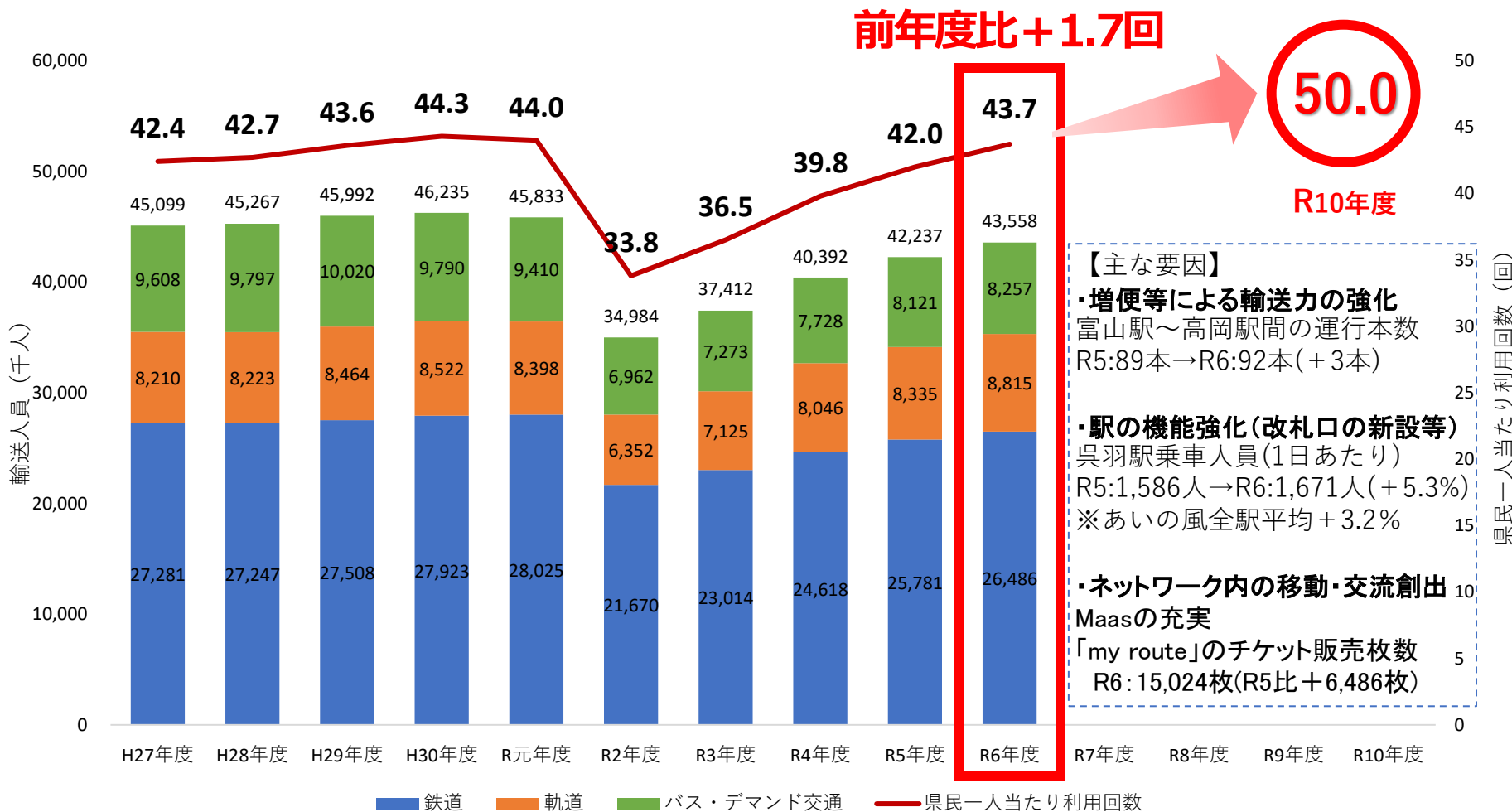
1.00倍 (R5年度) ⇒ 0.97倍 (R6年度) ⇒ **1.10倍 (R7年度)**

③ 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことはありますか。

1.00倍 (R5年度) ⇒ 1.10倍 (R6年度) ⇒ **1.22倍 (R7年度)**

<目標1> 県民一人当たりの地域交通利用回数（最新年度）

○県民一人当たりの地域交通の利用回数をR10年度までに年間50回へ引き上げることを目標に設定
 ○最新年度は、前年度から1.7回増加し、年間の利用回数が43.7回となった。



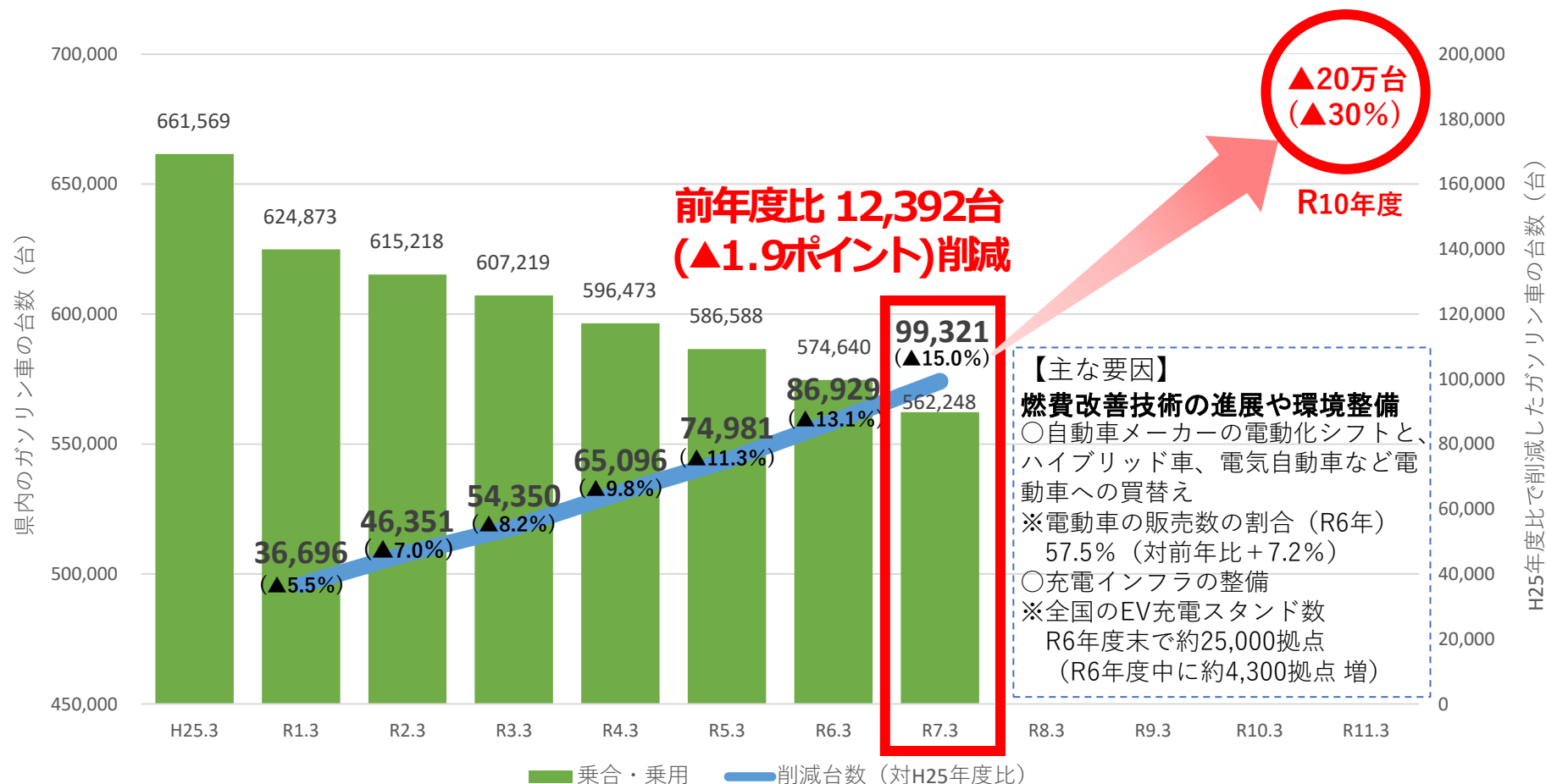
<出典> 鉄道、軌道 …北陸信越運輸局提供データより（北陸新幹線、黒部峡谷鉄道を除く県内の鉄道、軌道の輸送人員）
 バス・デマンド交通 …富山運輸支局提供データより（立山黒部貫光を除く県内の一般乗合旅客自動車運送事業、
 自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の輸送人員）
 人口 …富山県人口移動調査結果（各年度10月1日時点）

<目標2>ガソリン車の台数（最新年度）

○ガソリン車(※)の台数をR10年度までにH25年度比で20万台削減（30%減）することを目標に設定

（※）電動車（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車）以外の車

○最新年度は、前年度から12,392台削減し、H25年度比で99,321台の削減（15.0%減）となった。

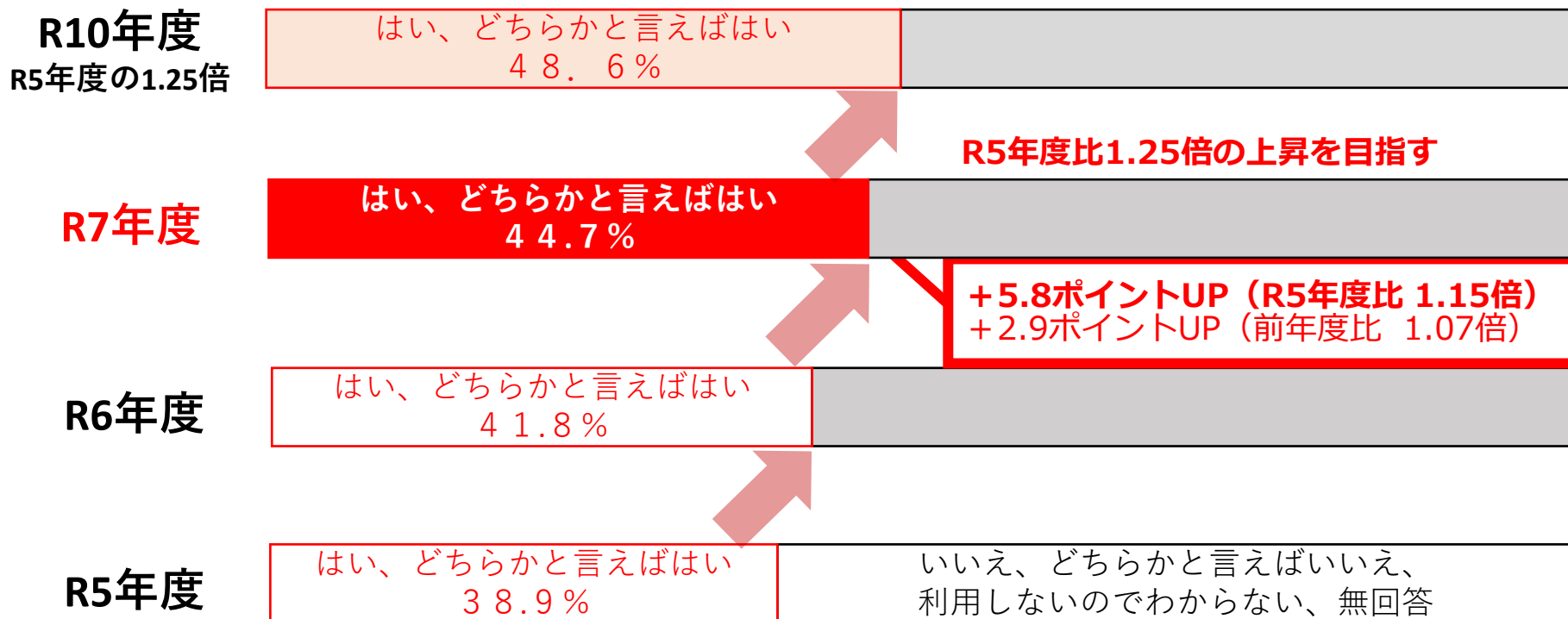


<出典>（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数（月報）」 ※N年度の台数は年度当初（N年3月末）の台数

<目標3>地域交通への満足度 設問①（最新年度）

○最新の県政世論調査の結果では、地域交通を利用して「便利で使いやすい、安全快適に移動できる」と感じたことがあると回答した人は44.7 %（最新年度）と、38.9 %（R5年度）から5.8 ポイント、41.8 %（前年度）から2.9ポイント上昇した。

① 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことはありますか。



【主な要因】・駅の機能強化（バリアフリー化、改札口や進入口の新設、駐輪場の新設 等）
・パターンダイヤや接続に配慮したダイヤの工夫、通勤・通学時間帯やイベントに合わせた増便
・住民の意見を踏まえたコミュニティバスのダイヤ、運行ルートの見直し

<目標3>地域交通への満足度 設問②（最新年度）

○地域交通を利用して「自分の住む地域や人との関わりあいがあった、暮らしの中で生きがいをもてた」と感じたことがあると回答した人は 19.8 %（最新年度） と、17.3 %（R5年度） から 2.5 ポイント、16.8 %（前年度） から 3.0 ポイント上昇した。

② 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わりあいがあった、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことはありますか。

R10年度

R5年度の1.25倍

はい、どちらかと言えばはい
21.6 %

R5年度比1.25倍の上昇を目指す

R7年度

はい、どちらかと言えばはい
19.8 %

+2.5ポイントUP（R5年度比 1.10倍）
+3.0ポイントUP（前年度比 1.18倍）

R6年度

はい、どちらかと言えばはい
16.8 %

R5年度

はい、どちらかと言えばはい
17.3 %

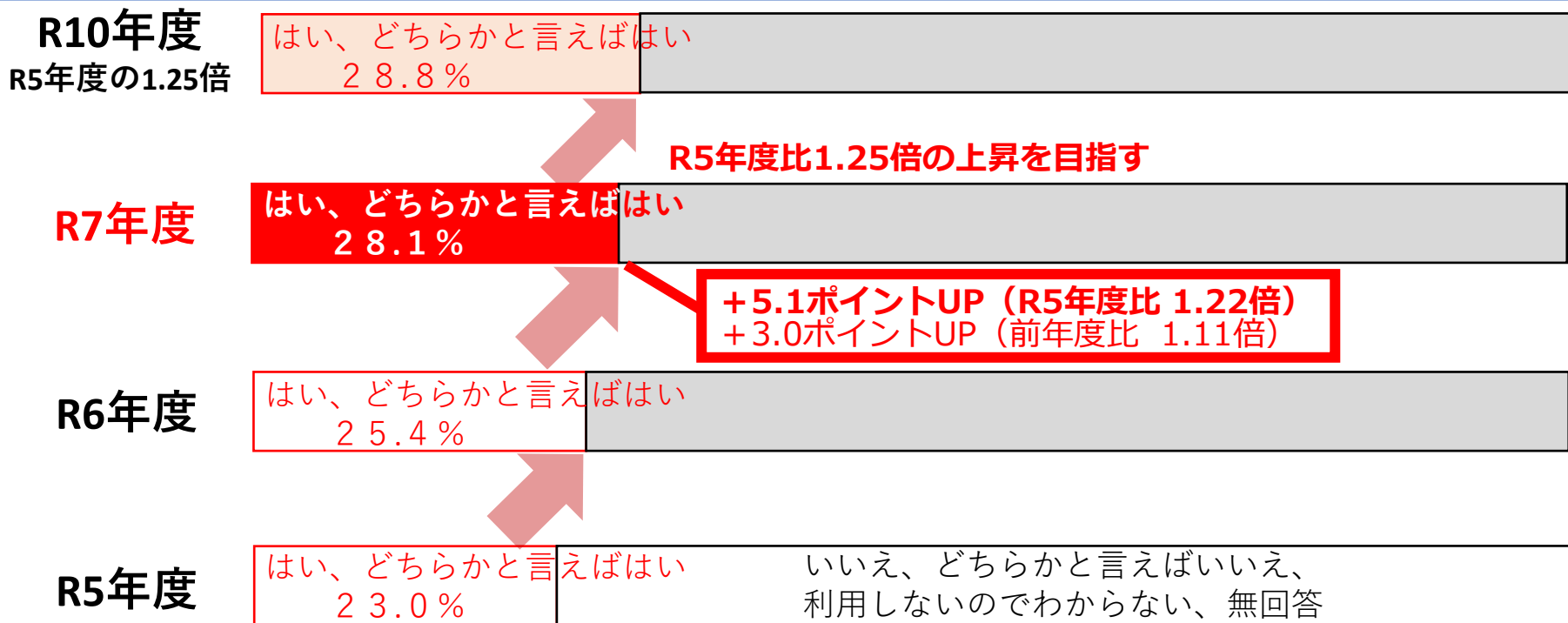
いいえ、どちらかと言えばいいえ、
利用しないのでわからない、無回答

【主な要因】・自宅を発着地とするAIオンデマンド交通などの導入による利便性の向上、外出機会の増加
・車両を活用したイベントの実施（観光列車の運行、フォトウエディング等）

<目標3>地域交通への満足度 設問③（最新年度）

○地域交通を利用して「お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができた」と感じたことがあると回答した人は、28.1 %（最新年度）と、23.0 %（R5年度）から 5.1 ポイント、25.4 %（前年度）から 2.7 ポイント上昇した。

③ 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得に出かけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことはありますか。



【主な要因】・「my route」をはじめとするMaaSアプリやデジタルチケット等の企画乗車券の充実
・「電車・バスで行こう！キャンペーン」や「親子でおでかけ事業」の積極的な周知、各交通事業者による沿線のイベントとタイアップした企画きっぷの造成